

## ファカルティ・ディベロップメントの概要

### 1. 実施報告

本委員会における主な活動は「授業評価」「授業公開」「FD・SD 大学問題研究会」の3点である。今年度も、委員会をはじめ各種研修会を対面形式で実施することができた。

昨年度から新たな試みが1点ある。「学生が選ぶ教員表彰」制度の実施である。全ての教員を対象に、教育面における業績が極めて顕著であると認められた教員を表彰することにより、教員のモチベーションを高め、学生に+1（プラスワン）のより質の高い教育の提供、学習効果の向上に寄与することを目的とし、実施された。制度自体は昨年度からあるが、選定期間が5月のため、今年度初めて受賞者3名の選出、表彰を行った。

\*\*\*

授業評価の中心的な取り組みである「学生による授業評価アンケート」は、昨年度に続き総合教育システムを使用して Web 上で実施した。総合教育システムは UNIVERSALPASSPORT の授業評価アンケート機能を使用して実施した。アンケート結果に基づく教員の学生へのフィードバックコメントの提出も、例年通りアンケートフォームを使用した。

\*\*\*

授業公開に関して、今年度は昨年度からさらに公開期間を拡大し、前期（6月）から12月末までの期間、実施した。また事前に授業担当者と交渉することで期間外の見学も可能としたりするなど、充実を図った。原則すべての授業を対象とした（ネイティブの教員との英会話を主とする「コミュニケーション演習」においては、業者委託による授業であるという事情から対象外とした）。この授業公開の実施は、授業評価アンケートの結果を授業改善に活用する重要な機会であると考えている。

\*\*\*

「FD・SD 大学問題研究会」においては、今年度も多岐にわたるテーマで、年間で計5回にわたって開催した。対面形式とともに、オンラインでのライブ配信形式も併用した。さらに、当日の講演会の録画を配信するフォロー研修期間を設定したことにより、より多くの教職員の参加が可能とした。

\*\*\*

授業に関する学生・教員交流会は、12月17日（火）対面形式により実施した。「私たちはこんな授業が受けたい！」というテーマで、クリスマスの時期に食べられている焼き菓子「シュトレン」を食しながら、学生が考える理想の授業について提案や希望を聞き取った。

他学科の学生や教員との交流により、学生たちが互いにどのような学びをしているのかを知る機会となったことは、良かった。学生たちのコメントから、他学科の学生たちと交流できる授業を望んでいることがわかった。

以上